

| 工程 | 材料 | 調合(重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間(23℃) | 可使時間(23℃) |
|--------|---|---------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------|-----|-----------|-----------|
| 1.素地調整 | ≪屋根≫①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて除去して下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。 ≪外壁≫①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で除去して下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑦リシンやスタッコ等で凸部の隠れが困難な場合はあらかじめタテイルフィラー等で下地調整してください。 | | | | | | | |
| 2.下塗り | 下地に応じた下塗材を施工してください。 | | | | | | | |
| 3.中塗り | セラベース [水性タイプ] 清水 | 15kg 0~5% | 0.12~0.16 (kg/m ² /回) | 93~125 (m ² /缶/回) | 刷毛 中毛ローラー エアレス | 1回 | 4時間以上 | — |
| 4.上塗り | タテイルフロン 主剤 硬化剤 清水 | 15kg 1kg 0~5% | 0.1~0.15 (kg/m ² /回) | 106~160 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー エアレス | 1回 | (2時間以上) | 5時間以内 |

●セラベース[水性タイプ]

(1液水性反応硬化形高耐候万能中塗りコート)

■荷姿

15kg/缶

■色

プレマテックス標準色全色
 屋根用耐候性強化色
 日塗工色全色 他

●タテイルフロン

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

■荷姿

16kgセット 主剤:15kg
 硬化剤: 1kg

■色

プレマテックス標準色全色
 日塗工色全色 他

■適用基材

- ・一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板
- ・窯業系サイディングボード、吹付タイル・スタッコ・リシン
- ・波形スレート・カラーベスト・厚形スレート瓦・等

■適用基材

- ・一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板
- ・窯業系サイディングボード、吹付タイル・スタッコ・リシン
- ・波形スレート・カラーベスト・厚形スレート瓦・等



注意事項

- ・セラベース[水性タイプ]、上塗材とも十分な塗布量と膜厚を確保することでその性能が発揮されます。ローラーは毛丈13mm以上の中毛ローラーをご使用ください。
- ・タテイルフロンは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロンは攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルフロンは、調合後15~20分程度静置させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルフロンは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・コロナル・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。